



# スポーツしぶかわ

題字：水沢 淳 スポーツ協会長

発行：浜川市スポーツ協会 発行編集：浜川市スポーツ協会広報専門委員会  
〒377-8501 浜川市石原 80 番地 TEL 0279-22-2241 FAX 0279-22-2132

## 令和5年度 浜川市民スポーツ祭総合開会式開催

令和5年4月16日（日）瑞穂建設スタジアム（浜川市総合公園陸上競技場）にて『第18回浜川市民スポーツ祭総合開会式』が開催されました。

ラグビーフットボール部による市民スポーツ祭のプラカードを先頭に36団体が入場行進をし、市民スポーツ祭競技別大会の幕開けとなりました。

開会式終了後は、浜川市社会体育功労者賞の表彰式があり、5名の方が受賞されました。

また、「しぶかわ絆リレー」の前の準備体操として、浜川市スポーツ推進委員によるラジオ体操を実施しました。絆リレーの参加チームは、小学生・シニアの部、中学生の部、一般の部に分けられ、市民スポーツ祭実行委員会水沢淳委員長のピストルの合図とともに、それぞれのチームが素晴らしいレースを繰り広げました。



【 入場行進 】



【 選手宣誓 ラグビーフットボール部 】  
代表 兵藤結南さん、木村春輝さん

「スポーツしぶかわ」の広報誌も年一回発行を  
してきましたが、今年度より年二回にし、市民の  
皆様にスポーツ協会の活動を広くご紹介させてい  
ただきたいと思っておりますのでよろしくお願  
い致します。結びに皆様方のご健勝とご活躍を  
ご祈念申し上げます。

平素より本協会の活動に深いご理解と温かいご  
支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
新型コロナウイルスの感染者も一時からみると  
大分少なくなつたとはいえ、まだまだ予断を許さ  
ない状況にあります。このコロナの感染拡大によ  
り、大会や行事が中止となり、また日々の練習に  
も大きな影響を受けました。それにより失われた  
ものも多くありましたが、逆に得たものや再認識  
をさせられたものもあります。スポーツは毎日の  
積み重ねと継続性、そして大会等の目標があるか  
らこそ、つらい練習に耐え、技術の向上が図られ  
るのだと思います。また、何よりも大切なことは  
人と人とのふれあい、そして日々の健康であり、  
健康を維持するために必要なことは「規則正しい  
食事と運動」は絶対に欠かせないものであります。  
健康な生活を維持していくためにスポーツの果た  
す役割は大きいものがあります。身近な生活の中  
に体を動かす習慣を心掛け、「市民スポーツ」  
が実践できるようスポーツ協会としても支援して  
いきたいと思っておりますので、さらなるご支援ご協  
力をお願い申し上げます。

### コロナ禍で学んだもの



浜川市スポーツ協会  
会長 水沢 淳

## 令和4年度の輝かしい功績

### 渋川空友館（空手道）全国大会で大活躍

- ◇第64回内閣総理大臣杯全国空手道選手権大会（7/9・10）  
優 勝 — 今井絢香（団体都道府県組手）・第五位 — 福原秀樹（男子形）
- ◇第64回文部科学大臣杯全国空手道選手権大会（7/29・30）  
優 勝 — 小林徠亜（小学4年男子組手）  
準優勝 — 長谷川大翔（小学4年男子形）  
第五位 — 新木七海（小学5年女子組手）
- ◇日本スポーツマスターズ2022岩手大会（9/23～25）  
準優勝 — 今井絢香（女子組手一部）
- ◇第21回熟練者全国空手道大会（11/19）  
優 勝 — 今井絢香（35才女子組手・形）  
準優勝 — 眞下宗司（60才男子形）  
高橋保行（65才男子組手）  
第三位 — 奥山美和（35才女子組手）
- ◇第46回群馬県小学生総体空手道大会（1/15）  
優 勝 — 渋川空友館（長谷川大翔・庄司椋駕・田村穂夏）（団体形の部）
- ◇第15回群馬県道場対抗空手道大会（2/19）  
優 勝 — 渋川空友館（庄司大駕・奥山琥太郎・大嶋凌英）（団体小学高学年男子組手の部）  
優 勝 — 渋川空友館（長谷川大翔・庄司椋駕・小林徠亜）（団体小学中学年男子組手の部）



### 直心会（剣道）28年ぶり2度目の優勝！

令和4年5月8日、ALSOKぐんま武道館で開催された第44回群馬県道場少年剣道大会で小学生団体戦の部において直心会Aが優勝しました。同大会での直心会の優勝は、28年ぶり2回目の優勝となりました。選手達は、日頃の稽古の成果を存分に発揮し見事な戦いぶりでした。

また、直心会Bも3位入賞し大活躍でした！



- 優 勝 — 直心会A  
先鋒 須賀 遼介（5年）  
中堅 高山 穹（5年）  
大将 品田 柚希（6年）
- 第3位 — 直心会B  
先鋒 松村 咲良（5年）  
中堅 田村琉来亜（6年）  
大将 鈴木 詩斗（6年）

### 渋川クラウドナイン（バレーボール）大躍進

令和4年度のバレーボール部は、全国的にも例のない「クラブ（一般女子）・ヤングクラブ（U14中学生）・スポ少（小学生）」を一体化組織として活動する「渋川VBC'渋川クラウドナイン'」を中心に、一般女子は、県民スポーツ大会で準優勝、小学生も8月に開催された県民スポーツ大会で準優勝、中学生においては県予選優勝、全国大会出場と各カテゴリにおいて、県内外で注目される活躍をしました。



# 第60回群馬県民スポーツ大会 功績

## 冬季大会 スキー競技会 総合第2位

期日 令和5年2月19日(日) 会場 片品村丸沼高原スキー場

この日は朝から雨と濃霧と強風で最悪のコンディションでした。わが渋川チームは、残念ながらフルエントリーとはなりませんでしたが、参加選手やサポートスタッフなど悪天候をものともせず頑張ってくれました。この大会は3年ぶりに行われ、得点種目や得点方法など新しい形での開催でした。

今回から得点種目となった70歳以上の部では、中島さんがラップタイムをたたき出し1位、最高齢で挑戦した高梨さんも5位入賞となり、70歳以上の部ではクラス優勝というさい先のいいスタートでした。続いて女子の部も吉成さんが4位に食い込み、3人合計で全体2位、50歳代では加藤さんが4位、3人合計で3位、30歳代は高橋さんが5位、阿久沢さんも7位になり2人合計で全体3位と頑張りました。15歳～29歳以下の部も飯塚さんが2位、根岸さんが7位、松下さんも頑張り、全体2位と奮闘しました。60歳代は7位でしたが、安達さんが2位となり頑張りました。40歳代は欠員が出てしまったため8位でした。

1位の高崎にあと8点まで迫り、惜しくも2位という結果でしたが、渋川の総合力の高さを示すことができました。参加した選手は、「来年こそ優勝しよう」と皆力強い言葉を発してくれていました。

みんな素晴らしい滑りを見せてくれました。来年こそ優勝！を目指して頑張りたいと思います。



【80歳で挑戦する高梨さん】



【70歳以上の部で優勝した中島さん】



【38秒台を出し会場をどよめかした飯塚さん】

## 秋季大会 ラグビーフットボール競技会 第3位

令和4年1月6日、高崎市八千代第三グラウンドで開催された「第60回群馬県民スポーツ大会秋季大会ラグビーフットボール競技(市の部)」で、ラグビー部が第3位となりました。

初戦の前橋市とは47点対14点で勝利、準決勝では残念ながら太田市に敗れましたが、3位決定戦で高崎市に19点対14点で見事勝利を収めました。

普段は渋川ラグビースクールのコーチとして小学生や幼児の指導に当たっているキャプテンの狩野さんは、「まさか高崎に勝って3位になれるとは思っていませんでした。終盤は体力的にかなりきつかったのですが、とにかく最後までやり抜くんだという選手みんなの気持ちで、この大きな結果につながったのだと思います。この『あきらめない』ということの大切さを、今後の指導において、子どもたちに伝えていきたいです。」と語ってくれました。今年9月から10月にかけて、4年に1度行われるラグビーワールドカップがフランスで開催されます。ラグビー関係者だけでなく、

渋川市民みんなで、日本代表「ブレイブ・ブロッサムズ」を応援しましょう！



表彰状を手にするヘッドコーチの兵藤浩史さん(左)とキャプテンの狩野達雄さん(右)

# 令和4年度 指導者研修会・講演会の開催

## ☆ スポーツ指導者研修会 ☆

日時 令和4年11月10日（木） 午後7時  
 会場 渋川市社会福祉センター  
 （渋川ほっとプラザ） 大会議室  
 講師 安齊義宏 氏  
 （高崎商科大学附属高等学校 校長）  
 演題 「コロナ禍におけるスポーツ活動」



### 困難な課題が生じたときこそ・・・

コロナ禍における学校行事や部活動等の対応に追われながらも、『できない、だめだ』ではなく、対策を研究し、『困難を乗り越える力』こそが指導者としての第一歩であると信じて取り組んだ。

指導者は、「いつも明るく」「常に心平らで」「誰にも公平で」「言葉を大切に」を理念とし、選手が安心できる環境づくりに努めることが大切である。そうすることで、選手たちは自分の考えや気持ちを安心して発信し、目標達成を諦めずに、やり抜いた自分に自信を持つことができる。

## ☆ スポーツ医科学講演会 ☆

日時 令和5年1月26日（木） 午後7時  
 会場 宮田商会武道館渋川（渋川市武道館）  
 講師 金城拓人 氏（上牧温泉病院 理学療法士）  
 演題 「いつでも・どこでも楽々ストレッチ」



参加者は最初に自分の体の硬さをチェックし、その後筋肉の特性を利用したストレッチでその即効性を体験した。講義と実技による講演でストレッチの効果と必要性をより実感できた。

また、ストレッチの作用や種類により目的に合った適応場面があることや、体幹トレーニングを取り入れることでケガの予防だけでなく、競技力の向上にも大いに効果があることを学んだ。

ストレッチや体幹トレーニングは直ぐに効果が出るものではないが、指導者と選手の可能性が広がるよう、継続的に行うことが大切である。



### 編集 後記

渋川市スポーツ協会令和5年度は、広報誌「スポーツしぶかわ」の発行が年2回となりましたが、スポーツ団体のイベント、大会の開催や各部活躍の掲載記事募集に渋川市スポーツ協会加盟競技団体中心に多くの団体にご協力いただきました。

広報委員長 今井

問い合わせ先

渋川市スポーツ協会事務局（育都推進部スポーツ課）  
 TEL 0279-22-2241 FAX 0279-22-2132